



News Release

09-D-0772
2009年11月12日

独立行政法人水資源機構（証券コード：一）
債券新規格付：「AA+」（ダブルAプラス）

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり債券の格付けをしましたのでお知らせします。

発行体：独立行政法人水資源機構

【新規】

（対象）	（発行額）	（発行日）	（償還期限）	（利率）	（格付）
・第7回水資源債券	70億円	2009年11月19日	2012年12月20日	0.53%	AA+

担保提供制限：なし（本債券は一般担保付であり、財務上の特約は付されていない。）

その他の特約：なし

社債管理者：不設置（ただし、独立行政法人水資源機構法に基づき受託会社が選任されている。）

【参考】

（対象）	（格付）	（見通し）
・長期優先債務	AA+	安定的

【格付事由】

- JCRは09年11月10日に、独立行政法人水資源機構（以下、「機構」という。）の長期優先債務及び既発行債券の格付けを「AA+」と公表しており、その後、格付けに影響を与えるような特段の事象は発生していない。
- 09/3期末の自己資本は1,084億円（うち利益剰余金1,011億円）まで積み上がっており、現状の財務内容からみて、事業の長期化や金利上昇に耐えうるだけの自己資本の厚みが確保されていると判断される。一方、09年10月9日に国土交通省より「09年度におけるダム事業の進め方について」が公表され、機構が建設中の8事業のうち3事業について、当初予定していた新たな段階に入らないこととされた。また、民主党マニフェストの「独立行政法人改革」に則って、独立行政法人等は原則廃止を前提にゼロベースで見直す方針とされた。これを受け、政府は、年内に独立行政法人改革の工程表を策定し閣議決定を目指すこととなっており、独立行政法人という組織形態や当機構の業務内容について見直しの対象となる可能性があるが、組織の見直し等が行われたとしても、その事業及び債務等は国等へ適切に承継されるものとみられる。

以上

（シニアアナリスト 小峯 崇志・アナリスト 南澤 輝）

本件格付けを行うにあたり適用した主要な格付け手法は弊社のウェブサイト(<http://www.jcr.co.jp>)に「パブリックセクター格付けの手法」として掲載されております。格付け手法は追加・変更されることもありますが、その場合は、時系列的に掲載します。本リリースの公表日と格付け手法の公表日(各手法が有効となった日)とを照らし合わせた上で、上記格付け手法をご参照ください。

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 日本格付研究所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル
<http://www.jcr.co.jp>

<情報提供電子メディア（検索コード）>

BLOOMBERG（和文：JCRA / 英文：JCR） REUTERS（EJCRA）
QUICK（和文：QR / 英文：QQ） JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

情報・研修部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026